

記者発表資料
令和5年 7月13日
宮城県多賀城跡調査研究所研究班
担 当 古田和誠・矢内雅之
電 話 022-368-0102
現場携帯電話 090-6257-0949
tagajo_lab@pref.miyagi.lg.jp

だいきちやまかわらがまあと
大吉山瓦窯跡第3次発掘調査現地説明会の開催について

当研究所の調査研究活動につきましては、日頃から御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当研究所では、令和5年度事業として、5月22日から大崎市教育委員会と共催で大吉山瓦窯跡第3次発掘調査を実施しております。

このたび、その成果がまとまり、7月22日の一般公開に先立ち、下記のとおり報道機関に公開発表しますので、ぜひ取材していただきますようお願いいたします。

記

- | | | | |
|---|------|--|---|
| 1 | 日 時 | 報道機関公開 | 令和5年7月20日（木曜日）午前11時から（雨天決行） |
| | | 一般公開 | 令和5年7月22日（土曜日）（小雨決行） |
| | | 1回目 | 受付 午前9時30分～、説明会 午前10時30分～ |
| | | 2回目 | 受付 午後1時～、説明会 午後2時～ |
| 2 | 集合場所 | 報道機関公開 | 大崎市古川小林字浦越地内 大吉山瓦窯跡第3次発掘調査現場
※駐車場から徒歩で約10分かかります（別添地図参照）。 |
| | | 一般公開 | 大崎市古川小林字新一本杉170 古川宮沢地区公民館・駐車場
※駐車場から発掘現場まで送迎いたします（別添地図参照）。 |
| 3 | 説明者 | 宮城県多賀城跡調査研究所 | 古田和誠 矢内雅之 |
| 4 | 調査成果 | 当日、現場で調査成果をまとめた資料を配布いたしますが、概要は別添資料を参照ください。 | |
| 5 | その他 | 発掘調査現場は山林内で、足場も悪い状態ですので、長靴等の汚れても構わない靴でご来跡ください。 | |

だいきちやまかわらがまあと

大吉山瓦窯跡第3次発掘調査の成果について

調査の目的

宮城県多賀城跡調査研究所では、平成16年度から大崎地方に分布する多賀城創建期の窯跡群の実態の解明を目的として調査を進めています。令和5年度は昨年度に引き続き、大崎市古川の大吉山瓦窯跡を対象に調査を行っています。

大吉山瓦窯跡は昭和47年頃の農道工事の際に発見され、昭和51年度に多賀城創建期の瓦窯跡として国の史跡に指定されました。令和3年度から当研究所と大崎市教育委員会が共催で発掘調査を実施し、指定地東部の窯の規模・構造・年代などが判明しています。

今回の調査では、瓦窯跡全体の様相の把握を目的とし、指定地西部を対象に発掘調査を実施しました。

調査成果

3基の窯とそれに伴う灰原や焼成土坑1基を確認し、指定地西部の窯跡の状況や年代が捉えられました。精査した窯2基はいずれも地下式^{あながま}窯で、瓦を焼成した窯と燃料となる木炭を焼成した窯があります。遺物は昨年度と同様に多賀城創建期の平瓦、丸瓦、軒瓦、鬼板など各種の瓦が多数出土しました。

今回の調査により、大吉山瓦窯跡の全貌がほぼ明らかになるとともに、創建期の瓦窯跡群で木炭窯が初めて確認されました。本窯跡には7基の窯と焼成土坑1基が存在し、多賀城創建期の瓦が焼成され、燃料の木炭もすぐそばで生産されていたことが判明しました。窯場の構成や生産体制を考えるうえで重要な成果であり、出土した鬼板などの特徴的な瓦から工人集団や技術の移動などを考えるうえでも貴重な資料が得られました。



SR7木炭窯の調査状況



出土した鬼板（縮尺1/6）

